



社団法人 日本理学療法士協会

富山県士会ニュース

平成19年度 No. 4 (通算 108号)

総会員数 359名 (休会45名)

全105施設



拡大役員会 参加された役員集合写真 1/19 ボルファート富山会議室にて
(当日、都合で参加されなかった役員もおられます)

国・県の医療保健情報をみる	2～3
理事会報告	4～5
研修会報告	6～12
新年会	12
地区連絡会だより	13
この人に直撃インタビュー	14～15
私のおすすめBook	16
平成20年度事業計画(案)・収支予算(案)	17～21
士会員の独り言・事務局インフォメーション	22
士会ニュース(会報)の名称募集について	23
編集後記	23
会員異動状況	24
平成19年度賛助会員名簿	25
平成19年度求人広告	25～28

2008. 3. 17

社団法人 日本理学療法士協会
富山県士会

〒936-0023 滑川市柳原149-9
富山医療福祉専門学校 理学療法学科 内
☎ (076) 476-1716

発行人：塚 本 彰

編集：中 谷 郁

印刷：志 貴 野 苑

士会URL: <http://toyamapt.umin.ne.jp/>

事務局アドレス: toyamapt-office@umin.ac.jp

国・県の医療保健情報をみる

まず後期高齢者医療のポイント

- ①75歳以上の高齢者、65歳から74歳までの寝たきりの認定をうけた高齢者を被保険者とする医療保険制度です。
- ②保険料は介護保険と同様、年金から天引き（今まで扶養家族で払わなくて良かった人も全員）全国平均 月6,200円、介護保険料が平均 4,090円あわせて 月10,290円(年145,080円) 天引きされる。
- ③総合的・継続的に 患者を診る主治医に情報を集約し、生活を含めた医療全般に責任を持つ。診療報酬では、いわゆる包括払い。それを超えたら病院の持ち出しになります。（後期高齢者診療料）

医療は平等であるはずなのに、なぜ75歳から別の保険制度が必要なのか。国民皆保険の国で年齢で格差をつける国はないそうです。それ故、中止、撤回や見直しを求める声があります。例えば 身近なところでは、当富山県議会も意見書を提出しています。

新年度4月の診療報酬改定（リハビリの世界では 成果を挙げると入院料の引き上げ等）にともない、保険内容 そしてより身近な療養病床の削減案が発表されました。そのニュースを新聞から紹介します。

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣

あて

平成19年 9月27日

富山県議会議長
仲 外喜雄

後期高齢者医療制度に関する意見書

来年4月より、75歳以上の高齢者等を対象とする「後期高齢者医療制度」が新たに実施される。75歳以上の高齢者等は、現在加入している国民健康保険や健康保険などから、新設の後期高齢者だけの医療保険に組み入れられ、健康保険等の「扶養家族」として加入していた年収180万円未満の低所得者も含め、すべての高齢者が保険料を支払うこととなる。

新たな高齢者医療制度の財源は、公費5割、現役世代からの支援金約4割、保険料1割により賄われることとなり、これまでの老人保健制度における問題点とされていた後期高齢者の医療費負担の内訳が明確になる一方で、多くの高齢者は、負担が重くなることを非常に心配している。

低所得者に対する保険料の軽減制度や、急激な負担増を避ける経過措置が講じられることとされているが、高齢化の進行により、医療、介護を合わせた高齢者の負担は、今後ますます高くなることが予想される。

よって、国会並びに政府におかれては、後期高齢者の医療を守る立場から、次の事項を実現されるよう強く要望する。

記

1. 高齢者の誰もが適切な負担で安心して医療が受けられるよう、保険料が過度な負担とならないよう財政措置を含め必要な手立てを講じること。
2. 後期高齢者医療の新たな診療報酬体系については、治療に必要な適切な医療の確保を前提とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書文面

メタボ健診 無料検診

政令3市 ペナルティーを回避

メタボリック症候群を減らすため、四月から四十七歳を対象に始まる特定健診制度で、十七政令指定都市のうち仙台・大阪・北九州市が国民健康保険加入者の健診費用を無料にする方向で検討していることが、十五日、共同通信の調べで分かった。

千二百円で、非課税世帯は免除という現行制度を参照するなどして

で該当者を減らし、医療費を抑制するのが狙い。しかし、無料にして受診率を上げてメタボが減り、医療費が減るかどうかは不透明。有料にした場合は「受診率が下がればペナルティーを科せられ支援金が増える」と保険料アップの形で住民は二重の負担になる（政令市担当市など、健診費を無料にするかどうかの判断は難しいようだった。

いずれも健診率によって、七十五歳以上の後期高齢者の医療費への支援金を加減するペナルティーを示しているため。無料化で健診率向上を目指す。

従来の基本健診制度では、各市町村が都道府県の医師会と健診の受診料単価の契約を交わしてきた。このため市町村ごとに健診項目も異なり、受診料も五十九千円と幅があった。

富山・射水など実施へ

特定健診実施を義務付けた市町村は、健診率を上げるため、ペナルティーを回避する。三市は、現在四ペナルティーとして、七十歳以上の医療費に実施している基本健診を原則無料にする。これにより、十歳以上の医療費に最大料にしており、これに代わって支援金を最大料にする。特定健診を有料にすればならない可能性が出てくる。健診率が下がりがちなという事情もある。

三市以外の政令市は、年度からだが、健診費用川崎、神戸、福岡が有料の方針を示している。医療（委託料）を一人当月定例市議会、森市長が公費負担すると説明し

県内では、四月から始まる特定健診制度で、富山、射水、市などが国民健康保険加入者の健診費用を無料にする方針を示している。医療（委託料）を一人当月定例市議会、森市長が公費負担すると説明し

富山・射水など実施へ

富山・射水など実施へ

富山・射水など実施へ

北日本新聞 08. 1. 16
メタボ検診に向け具体化へ

平成19年度 第8回 理 事 会 報 告

日 時：平成19年11月15日（木）19:00～
場 所：富山市民病院リハビリテーション科
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 川合
堀尾 森山 増山 城戸
永山（書記）

<報告事項>

- 事務局報告事項：事務局郵送物、公文書発行について報告された。
- 全国都道府県PT士会会長議会報告（会長）：理事会運営、会費徴収、新人教育体制などの協議について報告された。
- 東海北陸ブロックPT協議会理事会報告（会長）：副代表選出と役割、臨床実習指導者研修会の開催場所などの協議について報告された。
- 東海北陸PT学術大会生涯学習担当学会議報告（会長）：新人教育プログラム改訂、専門領域研究部会加入の促しなどについての報告がなされた。
- 第3回学術研修会報告（物理療法研究会）：平成19年9月30日（日）富山医療福祉専門学校にて開催。「疼痛に対する徒手療法」をテーマに、金沢アカデミー専門学校の加藤謙一先生をお招きし、ご講演いただいた。参加者は50名。
- 第7回循環器講習会報告（循環器研究会）：平成19年11月4日（日）厚生連高岡病院にて開催。循環器研究会会員が講演。参加者は29名。
- 第4回学術研修会報告（生活支援系研究会）：平成19年11月11日（日）サンシップ富山にて開催。「自立支援に向けた理学療法士の関わり方」をテーマに、当研究会員が講演した。参加者は64名。

<検討事項>

1. あすなろ研修（卒後教育部）
：平成19年11月18日（日）富山医療福祉専

門学校にて開催予定。

2. 理学療法教育方法論研修（卒前教育部）
：平成19年12月1日（土）2日（日）富山医療福祉専門学校にて、「動作分析の基礎と臨床」をテーマに開催予定。
3. その他
 - 1) 事務局への郵送物の保存期間は、書類1年間、他PT士会ニュースは3年間とする。
 - 2) 次年度事業計画・予算案は、平成19年12月25日まで事務局へ提出する。なお、拡大役員会は平成20年1月19日（土）に開催予定。
 - 3) テクノエイド協会主催の研修会が、次年度2月に富山で開催予定であり、展示・講演会場に学校を推薦。なお、単位認定と学生ボランティアの募集を今後検討する。

平成19年度 第9回 理 事 会 報 告

日 時：平成19年12月22日（土）17:00～
場 所：富山市レザン
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 川合
寺田 堀尾 森山 増山 城戸

<報告事項>

- 事務局報告事項：事務局郵送物、公文書発行について報告された。
- 第6回介護老人福祉施設リハビリテーション研修会報告：平成19年11月14日（水）サンシップ富山にて開催。「摂食・嚥下障害について」をテーマにし、参加者は17名。
- P T協会第1回都道府県理学療法士会法人化推進連絡会議報告（事務局）：平成19年11月24日（土）、P T協定会館にて開催。平成20年12月の公益法人制度改革に伴う対応について講演会及び会議・情報交換を行った。
- 身障者スポーツに親しむ集い報告（保健事業部）：平成19年11月25日（日）、富山市

勤労身体障害者体育センターにて開催。
参加者は17名。

- 医療保険部研修会報告（医療保険部）：
平成19年12月9日（日）、県立中央病院にて
開催。参加者は59名。

<検討事項>

1. 第5回研修会計画（スポーツ系研究会）
：平成20年1月6日（日）、滑川市交流プラ
ザにて開催予定。テーマは「関節運動学
を基にしたアプローチ」。
2. PT協会賞受賞候補者推薦について（表
彰審査委員会）：今年度は田村茂氏を推
薦することが決定した。
3. 介護予防研究会起案書について：会員よ
り研究会立ち上げについて申し出があっ
た。究会の位置づけ、該当部との兼ね合
いなど考慮し、まず有志で活動し、実績
を見て組織検討を行うこととなった。
4. 平成20年度事業計画案作成スケジュール
について：
 - 1）平成20年度のスケジュール確認
 - 2）1月19日拡大役員会開催
 - 3）事業計画案、予算案調整・修正し理事
会で確認し、総会案内を発送。
5. 平成20年度新人教育プログラム研修会参
加費について：会員の研修会参加費負担
軽減を考慮し、新人向けの新人教育プロ
グラム研修会については参加費を無料に
して予算を作成し、検討することとした。

平成19年度 第10回 理事会(拡大役員会)報告

日 時：平成20年1月19日（土）14:00～

場 所：ゴルフアートとやま 会議室

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 川合
堀尾 森山 増山 寺田 城戸
酒井 菱田 中屋 柴田 小林
城前 中島 廣川 竹田 竹中
中谷 村中 河合（書記）

<報告事項>

- 会長挨拶：拡大役員会の趣旨、国が推進
する4疾病4事業や地域連携等の医療計
画、PT協会の教育や政治的関与等の取
り組み、法人に関する情勢や県土会員の
活動の評価等を報告。
- 事務局報告事項：次年度事業計画・予算
案、事務局郵送物、公文書発行について
報告された。
- 第5回学術研修会報告（スポーツ系研究
会企画）：平成20年1月6日（日）に日本コ
ンディショニング協会の協賛を得て開催。
参加人数は60名と盛況でアンケート結果
からも有意義な研修会であった。
- その他：平成19年10月に事務局で管理し
ていた土会のノート型パーソナルコンピュ
ーター（PC）が紛失し、新たに購入。会
員などの個人情報に関するデータは、P
C中に入っていない。今後必要に応じて
PCを購入する。

<検討事項>

1. 第6回研修会計画（中枢神経系研究会企
画）：平成20年3月23日（日）に富山医療福
祉専門学校で開催予定。テーマは「片麻
痺者の歩行と短下肢装具」。研修会終了
後に総会を予定している。
2. 平成20年度事業計画指針：基本的には今
年度と同様とする。
3. 平成20年度事業計画案：各部局より会議、
研修会、研究会等が報告される。派遣事
業関連については、今後の対応を検討す
る。その他、富山県理学療法学会大会、
富山県土会創立35周年記念事業の企画に
ついて協議された。また、研修会の撮影
ビデオの保存方法、また利用の簡便化に
対する意見・要望があがり、今後理事会
で検討することとなった。
4. 平成20年度予算案：各部局より報告され、
修正を要する予算案について検討された。
40周年記念事業を踏まえて、35周年事業
の予算を調整する。

研 修 会 報 告



第6回 管理運営研修会

教育管理系研究会 中 島 隆 興（富山県立中央病院）

平成19年11月9日・10日富山県民会館にて、リハビリテーション部門のマネージメントー今、求められるマネージメントと題して、管理運営研修会を開催しました。富山県理学療法士会・日本理学療法士協会（教育管理系理学療法研究部会）共催の研修会で、今回で第6回を迎えました。社会・医療情勢の変化により職種間・施設間・地域の連携がいっそう重視されている中、新人、経験者、管理職に関わらず、全てのセラピストに必要なマネージメントについて我々が企画している管理運営プログラムの初級編にあたるものです。

今回は管理学総論：保村 譲一 氏（星城大学リハビリテーション学院）、森本 栄 氏（日本医療事務センター）、部門の管理運営：伊藤 隆夫 氏（初台リハビリテーション病院）、職場管理：山崎 裕司 氏（高知リハビリテーション学院）、リスクマネージメント：鹿内 清三 氏（東京海上日動メディカルサービス株式会社）と現場の第一人者である方々を講師に招きました。リハビリテーション部門の運営を円滑に進めるために必要な管理運営や人間関係技術、さらにリスクマネージメントなどについて、最新の情報を得ることが出来ました。講演だけでなく、グループワークも行い、問題解決のプロセスについてもわかりやすく解説していただきました。



今回は県内参加者が半数、そしてその中には作業療法士の方も2名参加されており、リハビリテーション部門での管理運営に対して、富山県の意識の高さが伺えました。協会や士会の事業では学術的なことが前面に出てしまいがちではありますが、質の高い診療は、この管理運営がしっかりなされていることが前提となります。また、管理運営は部門の管理者だけが考えるものではありません。患者・学生・他職種・自己管理というように、新人・経験者問わず、すべてのセラピストが意識すべきことだと思います。

今後もさらに充実した企画・活動をしていきたいと思います。

参加者の感想

済生会富山病院 織 田 洋 輔

11月9日・10日の2日間にわたり、富山県民会館にて、日本理学療法士協会と富山県理学療法士会の共催による管理運営研修会「リハビリテーション部門のマネージメント」ー今、求められるマネージメントーに参加しました。

研修会では、5名の講師の先生方から管理学総論をはじめ、経営・運営、教育、人間関係、リスク管理と多岐にわたり貴重な講演を頂きました。伊藤隆夫先生からは初台リハビリテーション病院の取り組みを紹介され、質の高いケアを提供するための人員配置・サービス体制の工夫や実際の日常生活訓練場面など、その取り組みは非常に興味深いものでした。グループワークでは、行動分析学を用いた人との接し方、事故発生時の原因分析・対策の考え方をより実践に

近づいて議論を交わすことができました。

当院のリハビリテーション科は経験の浅いスタッフで大部分を構成されているため、先輩方はリハビリテーション科の管理・運営について困る事が多いのではないかと思います。そのため、自分もリハビリテーション科の管理・運営に対して更に協力していきたいのですが、実際はそれほど関与していない状態でした。研修会に参加して、管理職でなくても管理・運営の意識を強く持つ必要性を改めて感じました。スタッフ全員が管理・運営の意識を持って行動することがより充実した運営につながるのではないかと思います。今後、この研修で得たことを日々の業務に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、講師の先生方、運営にあられた先生方、お疲れさまでした。



グループワーク



第4回 学術研修会を終えて

生活支援系研究会 山口 城 弘（高岡市民病院）

11月11日にサンシップ富山で第4回学術研修会が「自立支援に向けた理学療法士の関わり方」をテーマに開催されました。参加人数は64名でした。

前半は、病院・施設・行政・小児の4つの分野から「自立支援に向けた理学療法士の関わり方」について研究会の部員が報告しました。内容はそれぞれ4つの分野の関わり方について、その特徴や抱えている問題点・課題などについてまとめたものでした。

前半の報告を踏まえ後半では、参加者をグループ分けし、施設内連携と施設間連携についてそれぞれ4つの検討事項で、患者家族への指導・スタッフへの指導や情報交換のあり方などについて話し合いました。参加者の普段の取り組みや、困っていることや工夫していることなどについて話し合い、最後にグループごとに話し合った内容を報告してもらいました。報告された内容として、施設内での情報交換の手段としてはカンファレンスの開催や朝の申し送り・回診への参加があげられ、患者家族や他のスタッフへの起居動作や介助法の伝達は写真付きの資料配布・病棟ごとにマニュアルを作成し配布している、などの報告がありました。施設間での情報交換の手段は、書面での伝達のほか必要に応じて電話をすることや、送るばかりでなく返書が欲しいとの意見もありました。欲しい情報としてはリスクや予後、患者さんの性格や家族関係などがあげられました。グループ討議では、参加者の活発な意見交換の場となり、改めて連携の大切さを感じると共に、解決できる事や解決が困難な事など、今後の課題が見える研修会となったと思います。参加者の皆様、ご参加ならびにご協力ありがとうございました。研究会の部員の皆様、準備から当日の発表や運営お疲れ様でした。尚、グループ討議の詳細について、参加者の方々の意見をまとめたものを県土会のホームページに掲載してありますのでご覧ください。

来年度、生活支援系研究会では在宅での生活について住宅改修などを中心テーマに進めていく予定です。勉強会等を企画いたしますので、是非ご参加ください。あわせて、研究会の部員も募集しておりますので興味がある方は、高岡市民病院山口までご連絡ください。

TEL:0766-23-0204 FAX:0766-23-3025 E-mail: reha@pl.tcnet.ne.jp



第6回 リハビリテーション研修会を開催

福祉事業部代表 廣 川 晃 彦（富山労災病院）

11月14日（水）サンシップとやまにおいて、第6回リハビリテーション研修会が開催されました。この研修会は、介護老人福祉施設に従事される職員の方々に理学療法士という立場から



石崎管理栄養士 講義

提供出来るものはないだろうか、という観点から始まったもので、今年で6年目となります。今年度の研修会のテーマは昨年度と同様に『摂食・嚥下障害について』とし、17名の受講者が参加されました。講師となっていた先生は、富山大学医学部脳神経外科言語聴覚士の中道先生、高志リハビリテーション病院管理栄養士の石崎先生、砺波総合病院理学療法士の藤吉先生の3名の先生方で、言語聴覚士、管理栄養士、理学療法士というそれぞれの立場から、摂食・嚥下障害についての説明や食事の工夫、高齢者に対する呼吸器ケアなどの説明を、分かりやすく丁寧に、時にはユーモアを交えながら講義していただきました。研修会終了後に受講者からいただいたアンケートにおいても、大変面白かった、ためになったというコメントばかりで、特に『藤吉先生から働く意欲をもらった』、『熱意が伝わった』というコメントが多く、藤吉先生は大人気でした。

提供出来るものはないだろうか、という観点から始まったもので、今年で6年目となります。今年度の研修会のテーマは昨年度と同様に『摂食・嚥下障害について』とし、17名の受講者が参加されました。講師となっていた先生は、富山大学医学部脳神経外科言語聴覚士の中道先生、高志リハビリテーション病院管理栄養士の石崎先生、砺波総合病院理学療法士の藤吉先生の3名の先生方で、言語聴覚士、管理栄養士、



修了書授与



あすなろ研修会・あすなろカンファレンス開催

教育局卒後教育部 中 島 隆 興（富山県立中央病院）

平成19年11月18日、卒後教育部主催にて、新人教育プログラム「職業倫理・管理運営」、「人間関係」、「症例検討」に対応したあすなろ研修会、あすなろカンファレンスを開催しました。「職業倫理・管理運営」は厚生連高岡病院の塚本彰氏に「職場のコミュニケーションと管理運営」と題して、管理学総論、コーチング、コンプライアンス・セルフマネジメントについて講演していただきました。管理運営というと職場の管理者や上司が考えるものと思いますが、新人の理学療法士でも身近に感じる管理運営の内容となっていたと思います。「人間関係」は富山医療福祉専門学校の城戸智之氏に「関連職種との連携について」と題して、医師、看護師、作業療法士等の各職種との具体的な連携のポイントについて事例を交えながら説明していただきました。我々は人と人とのよい関係があってこそ、よい仕事出来るのですが、両講演にて、その大切さを再確認することが出来ました。

あすなろカンファレンスは、今回は座長に加え、各専門領域研究会の先生方（骨関節系、中枢神経系、生活支援系）をアドバイザーとしてお迎えしての症例検討会という形を取りました。例年フロアからの質問やアドバイスが少ないように感じていましたが、今回は発表者の検討課題に対して適切なアドバイスがあり、発表者をはじめ参加者の方の満足度も高いものとなったのではないかと思います。今後も卒後教育部では研修会や教育システムの充実を図っていききたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

あすなろカンファレンスでの発表を終えて

富山協立病院 リハビリテーション科

理学療法士 能 崎 弓美子

11月18日に開催された「あすなろカンファレンス」で発表をさせていただきました。この春から働き始め、限られた時間の中で、評価、治療、発表準備等、初めて経験することばかりでとても大変でしたが、職場の先輩方からのアドバイスをいただきながら、無事に発表をする事ができました。

今回は、小脳梗塞を呈した症例を担当し、発表させていただきました。当日は、他院の先生方よりご指導いただき、その後の治療に大変役立ちました。これまで、私が持っていなかった新たな視点からの、具体的な治療法や対応方法を教えていただき、非常に良い経験をさせていただいたと思っ

ております。ご指導いただいた先生方、ありがとうございました。

また、このような発表の機会を与えていただき、ありがとうございました。今回の発表で得たことを、今後の臨床活動に役立てていきたいと思います。



ポスター発表



『保健事業部研修会：車椅子バスケットに親しむ集い ～車椅子バスケットに挑戦しよう～』に参加して

富山県済生会高岡病院 竹 谷 和 美

平成19年11月25日、富山市勤労身体障害者体育センターにて、保険事業部研修会が開催されました。富山県車椅子バスケットボールクラブの安田武志氏、松浦良男氏、堀田良明氏、中川高充氏を講師としてお招きしました。

車椅子バスケットの競技ルール説明から始まり、車椅子の特有のルールや車椅子バスケットはチームを作る際に持ち点方式(クラス分け)というものがあり、各々障害の重い者の順から1.0～4.5の持ち点が定められていて、試合中コート上の5人の持ち点の合計は14.0を超えてはならないという説明を受けました(詳細は富山県車椅子バスケットボールのホームページをご参照下さい)。

続いて車椅子の乗車し、準備運動(駆動、ドリブル、シュートなど)、試合形式で体験させて頂きました。私自身、久しぶりとはいえ学生の時にバスケットボールの経験があったので、



車イスバスケットの実戦

大丈夫だろうと高を括っていましたが、実際体験してみると車椅子駆動で息があがったり、ボールはゴールに届かなかったりと苦戦しました。車椅子での目線だとゴールの位置は高く、どの筋肉を活動・固定させれば届くのか?どの筋肉を鍛えればよいのか?頸部・体幹角度、姿勢はどうか?など理学療法評価として考えさせられる部分も多くありました。

身体に障害をもった人々が心身両面のバランスを取

り戻し、日常生活に生きがいを持ち、自立した社会参加を促進するための機能回復、健康増進や二次的障害発生の予防などの対策を推進するリハビリの方策にスポーツという手段を用いるのも治療の一つであるということを改めて感じることができました。

またスポーツを通して、自分自身の限界にチャレンジしたり、勝敗を争ったりする中で気持ちの高まりを感じたり、屋内外で身体を動かしたり仲間と声を掛け合いながらプレイする中で、楽しみながら日常生活におけるストレス解消にも繋がると感じました。

私は今まで身障者スポーツと関わる機会がほとんどありませんでしたが、社会ではパラリンピックにトレーナーとして関わる理学療法士もおられるとのことで、その活動の幅の広さを知ると共に、自分自身もいろんな方向に視野を向け、今後も仕事に取り組んでいきたいと思いました。



車椅子バスケットの説明風景



卒前教育部研修会

卒前教育部 野 崎 有 希（南砺市民病院）

平成19年12月1日（土）・2日（日）の2日間、富山医療福祉専門学校において文京学院大学から福井勉先生をお招きし『動作分析の基礎と臨床ー今のままで満足ですかー』と題された研修会が開催されました。富山県士会の企画ながら石川県士会会員や作業療法士の参加もあり、多くの先生方が参加されました。

今回の研修会は卒前教育部の企画であり、観察ポイントのみならず動作分析における学生指導のポイントについてもお話しして頂きました。観察ポイントでは力学的解釈から捉え、瞬間中心法、姿勢、身体重心、上半身・下半身質量中心、骨盤運動、関節モーメント、スティッフネスなどに分けそれぞれについて講義、デモンストレーションと実技を織り交ぜながらの研修となりました。



デモンストレーション

実技はストレッチポール・エアスタビライザー・テーピングの用意もあり、評価から治療までの流れを実際に自分自身の身体を使って体験し、変化をそれぞれ実感することが出来たと思います。また、運動療法として臨床ですぐに使えるような内容もあり充実した研修会になったと思います。



私自身、2日間に渡っての研修会でありましたが、まだまだ理解しきれず動作分析の難しさを再認識しました。そして実際の臨床場面で動作分析し運動療法を処方することの大切さを理解でき、今後の学習意欲が向上する研修会になりました。



職能局医療保険部研修会

12月9日 県立中央病院5階ホールにおいて、職能局 医療保険部主催の研修会が開催されました。講師に、矢野神経内科医院：矢野博明先生をお迎えして、「医療構造改革と在宅医療」をテーマに講演をいただきました。参加者は、老若男女約60名の会員が参加。目まぐるしく変わる医療保険の情勢を解説していただきました。

矢野先生からは、医療保険制度の改正案の四本柱として、(1) 医療費適正化(抑制)の総合推進 (2) 新・高齢者医療制度の創設 (3) 保険者の都道府県単位での再編 (4) 保険のきかない治療拡大のためのルール再編 があること、医療費抑制の推進という項目の中に短期的な対策として「患者負担の引き上げ」と「診療報酬の引き下げ」が挙げられており、私たちは、より厳しいリハ医療を政府から求められていることを説明していただきました。現在の保険制度は、「必要だから予算を増やす」ではなく、「一定の予算の中からやりくりする」であり、そのためには今までの (コストのかかる) 入院医療から (コストのかからない) 在宅医療の転換 が必要とされています。政府は2012年末までに全国にある療養病床の23万床を削減する計画があり、富山県では、現在5,655床の6割；3,423床が削減計画の試算となっているそうです。

また、リハビリテーションに関する問題点として、「最も重点的に行われるべき急性期のリハビリテーション医療が十分に行われていない。」「長期にわたって効果の明らかでないリハビリテーション医療が行われている。」「医療から介護へ連続するシステムが機能していない。」「リハビリテーションとケアの境界が明確に区分されておらずリハビリテーションとケアが混在して提供されているものがある。」「在宅におけるリハビリテーションが十分でない。」以上5項目が挙げられて



矢野 博明先生 講演

いました。前2項目と最後の項目は、私たちの働き方に対しての批判と受け取ることもできましたが、逆にリハビリテーションの前後で評価や記録が十分でないのでは、と私自身反省もいたしました。

私たちPTが関係する診療報酬改定については、11月下旬から12月下旬にかけて審議されていくそうです。今後の動向を見守っていく必要があると感じました。(長谷)



第5回 学術研修会（スポーツ系研究会企画）報告

平成20年1月6日（日）滑川市民交流プラザにおいて、講師に広島国際大学保健医療学部の蒲田和芳准教授（日本コアコンディショニング協会理事）を、助手として高岡市民病院の山口城弘先生、済生会高岡病院の竹田伊希子先生をお招きして、関節運動学を基にしたアプローチ「コアセラピーの基礎と実技」を開催しました。約60人の参加申し込みがあり、今回の研修会に対する関心の高さが伺えるものとなりました。

研修会は、午前・午後のそれぞれ前半を座学、後半を実技として行われました。

座学では蒲田先生の現在の活動から始まり、コアコンディショニングの基礎や評価、整形外科疾患を中心とした臨床応用など、詳しく説明していただきました。

実技では、ストレッチポールを用いて、午前は「ベーシックセブン」と呼ばれる基本的なExerciseを、午後には胸部・骨盤を中心に、評価→Exercise→評価の流れで、先生方の指導の下練習を行いました。

コアコンディショニングは姿勢の安定と動作改善のためのメソッドであり、リラックスしたからだを、インナーユニットの再教育によりスタビライズさせ、コーディネートされた動作に導くことだそうです。私自身体験して感じたのは、即時効果がはっきりと出ることでした。特に、午後の実技時におけるExercise前後の評価結果の違いには驚かされました。この研修会の経験が無駄にせず、学んだことを職場に還元できればと思うと同時に、PTとして即時効果の出せる治療をしていきたいと強く感じる1日になりました。

このような貴重な研修会の開催に尽力してくださった先生方に感謝いたします。（石吾）



ストレッチポールを用いての写真

新年会

～盛り上がりました!!～

高木 志 仁（八尾総合病院）

去る平成20年1月19日に富山県理学療法士会の平成20年新年会がとやま自遊館にて行われました。

今年は塚本会長をはじめとして30名ほどの先生方が参加されて大いに盛り上がりました。私は今年度に富山県士会に入会したため初めての参加となりました。今年の新年会は新人が5人ほどの参加で少々さびしい感じでしたが、他の施設の先輩方と多く話す良い機会となり、私にとってとても有意義な会となりました。仕事の話では他の施設や地域の現状はどうなっているのか、先輩方がどのような思いを持って仕事をしているのかを聞くことができ、またプライベートの話でも先生方の面白い話をいろいろと聞くことができました。いろいろな先生方と話に熱中し、予定されていた2時間も始まってしまうとあっという間に過ぎていきました。

私自身は今年新潟から富山に移り住み、病院外での知り合いもまだまだ少なく他の施設の方

とも交流を深めていきたいと思っていたので、こういった機会は本当にありがたかったです。今年も素晴らしい先生方と富山県士会を盛り上げていきたいと改めて思いました。今後もこのような機会があれば積極的に参加していきたいと思っています。

最後にいろいろとためになる話や楽しい話をしていたいただいた諸先生方本当にありがとうございました。



一本締め



地区連絡会だより



中部地区代表

土井 仁美氏

(厚生連滑川病院)

中部地区は、滑川市、上市町、立山町、舟橋村の市町村で構成されている地区です。中部地区の第1回連絡会は、平成19年11月5日に厚生連滑川病院に於て行われました。

はじめに、地区連絡会発足の経緯について富山医療福祉専門学校の城戸氏から説明がありました。つづいて出席者は自己紹介を行い、各施設の現状について報告しました。現状報告では、「最近ターミナルの患者様が増えている」、「訪問リハを行うにあたって人員不足と車の確保が困難である」、「中部地区の病院、施設にはSTがいない」など様々な内容が出されました。その後、施設間連絡についても話し合われ、リハビリノートの活用、地域連携パスの利用、訪問リハの情報交換を実施する、などの意見が挙げられました。施設間の連絡方法については、基本的に電話もしくはFAXで行うこととし、連絡網を作成しました。

今後の活動については、

- ① 2ヶ月に1度、交流会や情報交換会を開催する。
- ② 毎回、テーマを決めて話し合う。
- ③ 毎回、会場を変更して開催し施設見学を行う、などが提案されました。



富山中央地区代表

木林 勉氏

(富山市福祉保健部介護保険課)

富山市中央地区に勤務する病院・施設・行政機関に所属する理学療法士の代表者11名に集まっていただきました。まず、お互いの理解を深めるために、自己紹介を兼ねてスタッフの構成、仕事の内容について話してもらいました。その中でときおりこぼれでる悩みや抱えている問題については、経験豊富な諸先輩から助言をいただくことができました。施設基準、病院機能評価、介護保険制度の疑問点やスタッフ不足に悩んでいること、急性期、回復期、維持期の取り組み方や連携に対する問題意識など、とても有意義な意見交換がかわされました。

急性期における理学療法士と作業療法士の役割分担、回復期病棟・療養型病床群のリハビリテーションや帳票類を含めた書類等の事務処理に関すること、在宅復帰、経営母体の民営化に伴う対応など、仕事の上で考えなければならぬことが予想以上に複雑でかつ多岐に渡っており、理学療法士は専門性の追求はもちろんのこと、その方向性や社会性についても吟味し努力しないと社会的認知につながらないと感じました。

本連絡会は、理学療法士の仕事が多様化し、それに伴い様々な分野で活躍される専門家が顔を合わせる希少な機会と捉えることができます。今後、専門化が加速し分化が進んでも理学療法士はお互いの親睦を深め、理解しあうことが最も大切だと感じました。



富山南部地区代表

池田 裕哉氏

(八尾総合病院)

平成19年11月20日に八尾総合病院にて、第2回の富山南部地区連絡会が開催しました。今回は、各病院・施設の代表者が13名集まりました。まず、はじめに連絡会の意義について地域リハビリ支援室・タムラの田村茂先生にお話しいただきました。その後は、各病院・施設の特徴、病床・入所者数、スタッフ数などの紹介をし合って、現在抱えているそれぞれの問題点や疑問点など話し合いました。その中で、維持期施設の方からは、患者さんの家屋改修などの環境調整を急性期・回復期病院のスタッフでしてもらえるとありがたいという意見や、1人職場の方からは、勉強方法や困った時の対処方法などについての相談もありました。また、来年度の診療報酬改定についての情報も提供され、PTの将来についての不安なども聞かれました。1時間半という短い時間でしたが、活発な意見交換ができたと思います。今年度の開催は2回し、今まで知らなかった方とも話しをする良い機会となり、地域の輪が広がったように感じます。来年度はさらに充実した連絡会となることを期待します。



高岡地区代表

山口 城弘氏

(高岡市立高岡市民病院)

高岡地区では、昨年8月27日に第一回の企画会議を行いました。各施設の代表者に呼びかけて、16名の方にご参加いただき、今後の高岡地区の活動方針について話し合いました。決定事項として、

- 1. 今年度中に懇親会を開催する。
- 2. 活動計画を代表、理事、有志が集まり検討し、参加者に連絡する。
- 3. 今年度末から来年度はじめには活動を開始する、と決まりました。

高岡地区は、24施設81名と規模は大きいですが、顔の見える関係作りができるように、今後進めてまいりたいと思いますので、関係の皆様のご協力をお願いします。

(今回は4地区からの報告です)



フルマラソン完走100回に あと一つの川合 宏さんに聞く

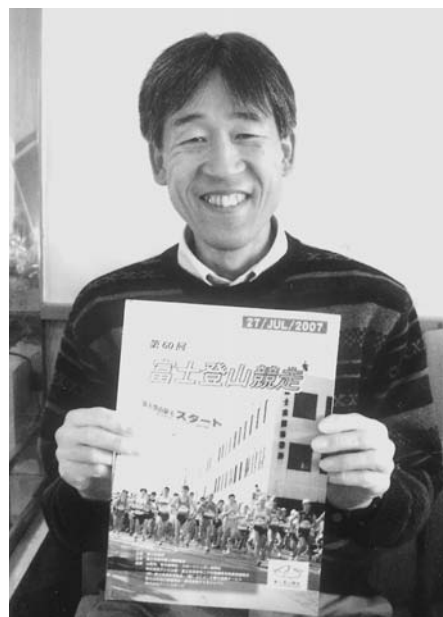
- 田村 こんにちは、今年久方ぶりに富士登山マラソンに挑戦され、みごと完走されたと聞きましたが、おめでとう。本当によくやるね～。タイムは？
- 川合 19年ぶりに走って、4時間24分37秒でした。
〔注：富士登山競争（富士吉田市役所から吉田口登山道を経て山頂に至る21km、標高差約3,000m）〕
- 田村 ズーと登りばかりで登山道は狭いから追い越せない、前半で飛ばしておかないと大変だね。
- 川合 そうなんです。馬返しからは1列、それまでにいい位置につく必要があります。
- 田村 ところで富士登山マラソンは何回目ですか
- 川合 3回目で、一番最初は昭和59年の37回大会です。



第60回 富士登山独走 平成19年7月27日

- 田村 そもそもマラソンに参加し始めたのはいつからですか
- 川合 えーと、医薬大病院にきた58年で、もとの職場(国立循環器病センター)の友人がただエントリーしておいたからといわれて現地へ行ってみたらいきなり20キロ驚きました。
- 田村 そのときのタイムは覚えていますか。
- 川合 1時間35分27秒でした。
- 田村 えーっそんな速かったですか。すごいですね。じゃあ初フルマラソンのデビューは
- 川合 翌年59年の篠山マラソンでタイムは3時間

- 23分0秒です。
- 田村 それもいきなり3時間台すごいタイムですね。じゃサブスリーはすぐでしたね。
- 川合 えーっと平成元年の群馬マラソンで2時間55分58秒でした。
- 田村 全く別の次元の人ですね。じゃー今まで最高タイムは
- 川合 平成5年の防府読売マラソン2時間49分19秒です。
- 田村 夢のようなスピードランナーが身近にいたんだねー。
- 川合 でも最近では3時間30分台です。
- 田村 それにしても練習する時間とか場所とかはどうしているんですか。
- 川合 平日は病院の周りを仕事終わってから、そして土日は家の周りを月平均150から200km位です。
- 田村 確か新婚旅行はホノルルマラソンでしたね。奥さんがウォークで、沢山の参加者のなかからゴールする川合君を奥さんが見つけることは容易ではなかったと思うけど大丈夫でしたか。
- 川合 それは大丈夫でした。
- 田村 フルマラソン大会を多く参加されてると思うけど、その数は相当になるでしょう
- 川合 実をいいますと今まで105回エントリーして完走が99回、次回のフルマラソンで100回目の予定です。
- 田村 ええっ100回、たいしたもんですね。全国



富士登山マラソンのパンフをもって
川合 宏先生 近影

にはいるとは思いますがP Tの中にはいないでしょうね。金字塔ですね。

川合 それも走ることを教えてくれた友人も同じで、一緒に100回目をゴールしようと、初フルと同じ篠山マラソンで達成する予定です。感慨深いものがあります。

田村 ドラマだねえ。一口に100回と言うけれど、もちろん故障などあったと思いますがどうですか



襷をかけて力走

川合 腸脛靭帯炎、足底筋膜炎、そして昨年、下腿三頭筋の肉離れ、自己診断ですけど、1ヶ月走れなかったです。3ヶ月でやっと元に戻りました。その間、ウォーキング、自転車、ジョッキング、そしてトップスピードへ、スポーツ外傷のリハビリを自ら体験できました。けがをした時はウォームアップせずにスタートした。やっぱりウォームアップは重要ですね。

家族で繫いだ襷が1番の宝、家宝です

田村 フルマラソンばかりでなく楽しいリレーマラソン、富山のあいの風マラソンでも助っ人として助けてもらっていますが、なにか思い出になるレースはありますか。

川合 新婚旅行のホノルルマラソンもそうですが、6年前、家族4人で参加した金沢での駅伝大会です。私が5キロ、長女が3キロ、次女が1キロ、そして妻がアンカーで3キロ、家にはいくつかトロフィやメダルがありますがその中で、その時に家族を繫いだ1本の襷が1番の宝、家宝です。

田村 それはいい話ですねえ。箱根駅伝の襷と同

じですね。仕事と家庭そのうえ県士会の学術担当理事としても忙しい日々。それをうまくこなされて本当に模範生ですね。その経験から若いP T後輩に何かアドバイスをお願いします。

川合 う〜ん、走るのが楽しいから続けているんで、…そう、仕事以外に打ち込めるものがあるといいね。気分のリフレッシュにつながる。

田村 そうですね。ところで今後の予定は、夢はまずフル100回達成、そして…夢ねえ…名古屋からふるさとを越えて金沢までまる2日間走るさくらマラソンに参加したい。それから家族でホノルルを…夢はまだまだ、沢山あります。

田村 先生はまだ暦年齢、もちろん身体年齢も若い、夢の実現を祈っています。今日は貴重な時間をありがとうございました。

川合 宏さんのプロフィール

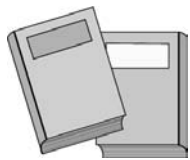
1958年	南砺市福光町生まれ
1979年	行岡リハビリテーション専門学校 卒業 大阪大学付属病院（卒後研修）、国立循環器病センターを経て、現在、富山大学付属病院に在職
1983年	20k マラソン初参加（福井マラソン）
1984年	フルマラソン初参加（篠山マラソン） 富士登山マラソン初参加・見事完走
2007年	3回目の富士登山マラソン当然完走 今年2008年は、100回フルマラソン完走予定（3月篠山マラソン）

このインタビューは拡大役員会開催する日（1月19日）、1時間早く来てもらい喫茶店で行いました。予定時間ジャストに来てくれました。何事も約束を守る。実直で責任感ある川合先生、質問に即、正確に答えるように過去のデータをきちんと整理されたクリアファイルを準備されていました。以前、医薬大での職場旅行でのこと、まっすぐ気をつけの姿勢のまま朝まで寝ていたのをふと思い出しました。

ところで世間では家族間でのトラブル、子が親を、親が子を殺傷する事件が報じられる中であって、家族で駅伝、その時の襷が家宝の話聞き、熱いものが胸にこみ上げてきました。

家庭にあっては頼もしい父親、職場にあってはリハビリテーション部代表、富山県理学療法士会では学術担当理事としてその重責を果たしています。頼りがいのあるわが士会の宝です。終始笑みを絶やさず答えてくれ、無事インタビューを終了しました。久しぶりに清々しい気分になりました。

ちなみに、富山県士会には浜黒崎から立山頂上まで走る立山マラニックをはじめ種々のフルマラソンの常連ランナーとしては大野愛美さん。ママさんランナーとして頑張っていますよ。



私のおすすめBook



本の紹介者

魚津訪問看護ステーション

西川 浩氏



題 名 リハビリテーション

著者名 砂原 茂一

出版社 岩波書店 岩波新書（黄版）139

およそ30年前、リハビリテーション医学の大先達である著者が、当時のリハビリテーションについて分析し、リハ技術の普及の不十分さ、リハ・サービスの未成熟さ、医学界での正しいリハ理念の未定着を指摘し、リハビリテーションの将来あるべき姿について医療の専門家及び一般市民に向け発信したリハビリテーション啓発の書。30年後の今日、リハビリテーションはどのように発展を遂げたのだろうか。

題 名 医者に見放されても病気は自力で治る
（究極の免疫力再生法）

著者名 安保 徹 出版社 講談社

「ストレス」は人体の免疫力を低下させ、「癌」に代表されるいわゆる「難病」発症の誘因となっている。著者は人体が本来持っている自然治癒力に着目し、その治癒力を高めるための方策について独自の理論を展開し、現代の「癌」治療のあり方に警鐘を鳴らしている。「病気に負けない生き方」についての示唆は、現代のストレス社会の中で病気から身を守るための知恵を私たちに与えてくれる。

本の紹介者

富山医療福祉専門学校

萩島 久裕氏



題 名 「腰痛・下肢痛のための靴選びガイド」

著者名 田中 尚喜

出版社 日本医事新報社 2004

定価1,900円＋税

理学療法士にとって腰痛・下肢痛の評価・対応を考える機会が多い。足部が下肢・体幹のアライメントに影響を与えていることは理学療法士なら周知の事実であるが、足部と靴に関する知識は意外と乏しいように思われる。本書は足部と靴との関係を理学療法士の視点でまとめたものであり、靴に関する知っておきたい周辺知識を広げるのに有益であり、一読を勧めたい。

本の紹介者

いきいきサポートセンター ゆめ

福江 明氏



題 名 理学療法の本質を問う

著者名 奈良 勲

出版社 医学書院

「温故知新（論語）より」長年、指導者として理学療法学の確立と協会の発展に寄与された著者の足跡より理学療法士という職業の歴史であり、未来を考える指針になります。

題 名 脳の話

著者名 時実 利彦

出版社 岩波新書

脳研究の古典、1962年に初版、2006年に第66刷が発行されています。

題 名 月刊ラジオ深夜便特別編集

「ラジオ深夜便 こころの時代」

NHKラジオ深夜放送「こころの時代」（AM4：05～）の講演集で、1冊480円の中にさまざまな人生が詰まっています。

日本に「理学療法士」が誕生して40年余り。今、職種は拡大し、働き方も多様です。人それぞれに、さまざまな考えはありますが、制度の変遷に翻弄されることなく、リハビリテーションの理念と「志」をもって働いていきましょう。

本の紹介者

富山市民病院リハビリテーション科

滝田 正樹氏



題 名 血液ガステキスト

著者名 工藤 翔二 出版社 文光堂

今から10年以上前に買った本ですが、呼吸生理や血液ガスの解釈について、新人の方（呼吸理学療法を始める方）には、最適のテキストだと思います。イラストが多く、難解な血液ガスについて分かりやすく解説されています。私も当時、血液ガスの教科書的な本を何冊も買い求めましたがこの本が一番分かりやすく、いまでも使っています。現在は、血液ガステキスト第2版として改訂され、最新の情報が盛り込まれています。呼吸生理や血液ガスがわからないから、呼吸理学療法はちょっと…という方には是非読んで頂きたいと思います。

題 名 人は見た目が9割

著者名 竹内 一郎 出版社 新潮社

この本は「ノンバーバル・コミュニケーション」の重要性について説いた書です。人が話をしている時、他人から受け取る情報としては、話す言葉の内容は7%に過ぎず、残りの93%は顔の表情、声の質、身だしなみや仕草だそうです。言葉以外の情報を著者は、「見た目」と捉えて本書は書かれています。言語以外の伝達にもっと目を向けることが、コミュニケーションを上手くすることにつながると痛感しました。職場や家庭でコミュニケーション不足に悩んでいる方は、是非一読してみてください。

富山県理学療法士会 平成20年度事業計画(案)

< 学術局 >

[専門領域研究部]

1. 専門領域研究部会

- (1) 専門領域研究部会 (4月)
- (2) 研究会連絡会議 (3回開催)

2. 研究会活動

(1) 循環器研究会

- ①研究活動
- ②第8回循環器講習会開催
 - a) 日時：平成20年10月5日(日) 10:00～16:00
 - b) 場所：厚生連高岡病院
 - c) テーマ：「循環器疾患のリハビリテーション」
 - d) 講師：銭谷 嘉純 (厚生連高岡病院)
 - 田形 学 (県立中央病院)
 - 大崎 泰信 (厚生連高岡病院)
 - 正保 哲 (水見市民病院)
- ③研修会開催
 - a) 日時：平成20年7月6日(日) 9:00～12:00
 - b) 場所：厚生連滑川病院
 - c) テーマ：「糖尿病のリハビリテーション」
 - d) 講師：土井 仁美 (厚生連滑川病院)
 - 梅野 晃 (高志リハビリテーション病院)

(2) 呼吸ケア研究会

- ①研究活動
- ②第8回富山県呼吸理学療法セミナー開催
 - a) 日時：平成21年2月28日(土) 14:00～17:00
 - b) 場所：富山市民病院
 - c) テーマ：未定
 - d) 講師：呼吸ケア研究会企画委員
- ③小研修会開催
 - a) 日時：平成20年6月27日(金) 19:00～20:30
 - b) 場所：富山市民病院
 - c) テーマ：症例検討会
 - d) 講師：呼吸ケア研究会企画委員
- (3) 生活支援系研究会
 - ①研究活動
 - ②小研修会開催
 - a) 日時：平成20年5月・7月・9月・11月 19:00～21:00
 - b) 場所：高岡市民病院
 - c) テーマ：「福祉住環境コーディネーター2級資格 所得に向けた勉強会」
 - 「事例検討会」
 - d) 講師：生活支援系研究会企画委員
 - ③講習会運営補助 平成21年2月 (第28回車椅子SIG 講習会)

(4) 中枢神経系研究会

- ①研究活動
- ②ケース・スタディー開催
 - a) 日時：平成20年9月6日(土) 14:00～17:00
 - b) 場所：八尾総合病院
 - c) テーマ：「片麻痺の評価と治療」
 - d) 講師：仲川 仁 (山田温泉病院)
- ③研修会開催
 - a) 日時：平成20年6月28日(土) 14:00～17:00
 - 6月29日(日) 9:00～15:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：「理学療法における臨床解剖学的アプローチ」
 - d) 講師：吉尾 雅春 (千里リハビリテーション病院)
- ④小研修会開催
 - a) 日時：平成20年11月8日(土) 14:00～16:00
 - b) 場所：済生会富山病院
 - c) テーマ：「CT、MRIの見方ー最近のトピックスも交えてー」
 - d) 講師：松村 内久 (済生会富山病院 脳神経外科医長)
- ⑤小研修会開催
 - a) 日時：毎月第4木曜日 19:00～21:00
 - b) 場所：いま泉病院
 - c) テーマ：単一症例検討会を通じてあすなろ研修や学会発表につなげる伝達講習会
 - d) 講師：中枢神経系研究会企画委員

①研究活動

②小研修会開催

- a) 日時：平成20年7月7日(月)
- 平成21年2月23日(月) 19:00～21:00
- b) 場所：富山協立病院
- c) テーマ：未定 (第1・2回レクチャー)
- d) 講師：未定

③研修会企画

(6) 物理療法研究会

- ①研究活動
- ②研修会開催 (基礎系研究会との共同企画)
 - a) 日時：平成20年6月1日(日) 10:00～16:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：「疼痛緩和と筋力増強を目的とした物理療法」
 - d) 講師：鳥野 大 (郡山健康科学専門学校)

(7) スポーツ系研究会

- ①研究活動
- ②研修会開催
 - a) 日時：平成20年12月 9:00～15:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：「各スポーツ競技における外傷・障害に対する理学療法」
 - d) 講師：スポーツ系研究会企画委員
- ③小研修会開催
 - a) 日時：毎月第3木曜日 19:00～21:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：各スポーツ競技 (野球、水泳、スキー、車椅子バスケット)における障害特性理解、評価、治療
 - d) 講師：スポーツ系研究会企画委員

④研修会企画

(8) 教育管理系研究会

- ①運営会議
- ②研修会開催 (日本理学療法士協会教育管理系理学療法研究部会共催)
 - a) 日時：平成20年9月26日(金)
 - 27日(土) 9:00～17:00
 - b) 場所：サンシップとやま (予定)
 - c) テーマ：「リハビリテーション部門のマネジメントー今、求められるマネジメントー」
 - d) 講師：保村 譲一 (星城大学リハビリテーション学院)
 - 森本 栄 (日本健康機構株式会社)
 - 山崎 裕司 (高知リハビリテーション学院)
 - 伊藤 隆夫 (在宅総合ケアセンター元浅草)

③研修会企画

(9) 理学療法基礎系研究会

- ①研究活動
- ②小研修会開催
 - a) 日時：平成20年8月22日(金) 19:00～21:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：「関節可動域運動の基礎と臨床Ⅱ」
 - d) 講師：理学療法基礎系研究会企画委員
- ③小研修会開催
 - a) 日時：平成20年11月21日(金) 19:00～21:00
 - b) 場所：富山医療福祉専門学校
 - c) テーマ：「スリングエクササイズの臨床応用」
 - d) 講師：理学療法基礎系研究会企画委員

3. 学会発表等の支援活動

[学術資料部]

- 1. 学術誌「みんなの理学療法」企画および編集・発行
- 2. 学術資料保存についての検討
- 3. 学術資料の整理および貸し出し・閲覧

< 教育局 >

[研修管理部]

- 1. 研修管理
 - (1) 新人教育、生涯学習の推進、啓発
 - (2) 受講証の発行
- 2. 教育・研修計画発行
 - (1) 新人教育プログラム単位認定
 - (2) 平成21年度教育・研修計画の発行

[卒後教育部]

1. 研修事業

(1) 卒後教育研修会開催

- ①日時：平成20年 6 月22日（日）
- ②場所：富山医療福祉専門学校
- ③テーマ：
 - a. 「生涯学習」
 - b. 「理学療法の教育方法論」

④講師：

- a. 寺田 一郎（厚生連高岡病院）
- b. 酒井 吉仁（富山医療福祉専門学校）
- 石元 泰子（県立中央病院）

(2) あすなろ研修開催

- ①日時：平成20年11月16日（日）
- ②場所：県立中央病院
- ③テーマ：
 - a. 「医療法・理学療法士法」
 - b. 「理学療法における研究方法論」
 - c. あすなろカンファレンス

④講師：

- a. 職能局員
- b. 宮原謙一郎（富山医療福祉専門学校）
- c. 座長：卒後教育部企画委員
アドバイザー：専門領域研究会員

2. 生涯学習計画試案作成

- (1) アンケート調査結果の分析
- (2) 生涯学習計画試案の作成

[卒前教育部]

1. 臨床実習教育研修会開催（PT協会教育部共催）

- (1) 日時：平成20年 8 月 2 日(土)・3 日(日)
- (2) 場所：サンシップとやま
- (3) 講師：荻島 久裕（富山医療福祉専門学校）
中川 法一（関西医科大学）
酒井 吉仁（富山医療福祉専門学校）
木村 貞治（信州大学）

2. 理学療法教育方法論研修会開催

- (1) 日時：平成20年 9 月
- (2) 場所：未定
- (3) 講師：荻島 久裕（富山医療福祉専門学校）

< 職能局 >

[業務推進部]

1. 管理者会議開催
2. 理学療法業務に関する情報収集
3. 医療・介護保険部主催研修会の準備・運営

[医療保険部]

1. 医療保険制度に関する情報収集と発信
2. 医療保険制度等に関する小研修会開催
 - (1) 日時：平成20年 5 月25日（日）9:00～11:00
 - (2) 場所：富山医療福祉専門学校
 - (3) テーマ：富山県の医療計画 他
3. 医療保険制度に関する相談窓口の設置

[介護保険部]

1. 介護保険制度に関わる情報の収集・整理・発信
2. 介護保険制度等に関する小研修会開催
 - (1) 日時：平成21年 3 月15日（日）
 - (2) 場所：富山医療福祉専門学校
 - (3) テーマ：平成21年度からの介護保険について
3. 介護保険制度の関連サービス事業者からの相談対応

< 公益事業局 >

[福祉事業部]

1. 「第7回介護老人福祉施設リハビリテーション研修会」企画と実施
 - (1) 日時：平成20年11月12日（水）
 - (2) 場所：特別養護老人ホームいなみ
 - (3) テーマ：「摂食・嚥下障害へのアプローチ～実践編～」
2. ノーマライゼーション推進事業の企画と実施
 - (1) 「第27回富山市民ふれあい広場」参加
 - ①日時：平成20年 9 月中旬
 - ②場所：富山駅北親水広場
 - (2) 「障害者福祉プラザまつり」参加
 - ①日時：平成20年11月上旬
 - ②場所：富山市障害者福祉プラザ

- (3) その他、同様のイベントに参加
3. 講師派遣事業：市町村関連団体や各種団体の要請に応じ対応
4. 小研修会開催
 - (1) 日時：平成20年 6 月上旬
 - (2) 場所：未定
 - (3) テーマ：介護・福祉制度を学ぶ勉強会
 - (4) 講師：未定

[保健事業部]

1. 身障スポーツ・介護予防事業に関する情報収集
2. 身障・各種スポーツ活動支援
 - (1) 各種競技団体からのPT要請対応・窓口
 - (2) 各種スポーツの準備などを含めた支援・援助

[広報部]

1. 理学療法週間事業の企画と実施
 - (1) 日時：平成20年 7 月13日（日）10:00～15:00
 - (2) 場所：イオン高岡ショッピングセンター
2. 広報誌「きとときとPT」No.3発行とNo.4企画・作成
2. 「いきいきとやま・第21回健康と長寿の祭典」の出展企画・実施
 - (1) 日時：平成20年10月 1 日（水）・2 日（木）
 - (2) 場所：富山県民会館

[調査部]

1. 土会活動に関する調査ならびに資料の管理
2. 他土会の動向、定点調査等

< 事務局 >

[事務部]

1. 事務局の管理
2. 総会・理事会・役員会の運営
3. 各種定型書類整理
4. 郵便物郵送・管理
5. 士会員の異動、登録などの管理
6. 士会員の慶弔に関する業務
7. 渉外活動、連絡調整

[財務部]

1. 財産・財務管理
2. 会員証による会費徴収の導入推進

[組織部]

1. 新法人化対策
2. 組織の見直し
3. その他

[福利厚生部]

1. 新入・転入会員歓迎会
 - (1) 日時：平成20年 6 月22日（日）
 - (2) 場所：富山医療福祉専門学校
2. 北陸三県理学療法士交流会(福井県士会担当)：日は未定
3. 県士会員交流会（地区対抗ボウリング大会&交流会）
 - (1) 日時：平成20年 9 月20日（土）
 - (2) 場所：未定
4. 富山県士会新年会
 - (1) 日時：平成21年 1 月17日（土）
 - (2) 場所：未定

[情報管理部]

1. 会報の発行（平成20年 6 月、9 月、12月、平成21年 3 月下旬）
2. 年報発行（平成20年 6 月下旬）
3. 会報及び年報の発送
4. 士会ホームページの企画・管理・運営

< 委員会 >

[選挙管理委員会]

[表彰審査委員会]

- ・表彰に関する事項の検討

[地区連絡会]

- ・地区連絡会議開催

< 特別事業 >

[富山県理学療法学会]

- ・第14 回富山県理学療法学会大会開催
 - (1) 日時：平成20年11月30日（日）9:00～16:30
 - (2) 場所：サンフォルテ
大会長：増山 智（富山県立中央病院）

[富山県士会創立35周年記念事業]

1. 式典の開催
 - (1) 日時：平成20年11月30日（日）17:00～19:30
 - (2) 場所：とやま自遊館
2. 記念品の贈呈

平成20年度一般会計収支予算(案)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
会費収入		3,982,000	3,600,000	382,000	
	正会員会費	3,582,000	3,195,000	387,000	会費：9,000×358名 新入会員：9,000×40名
	入会金	100,000	75,000	25,000	2,500×40名
	賛助会員会費	300,000	330,000	-30,000	賛助会費：30,000×10施設
事業収入		3,436,000	4,144,000	-708,000	
学術局	専門領域研究部事業	1,445,000	1,490,000	-45,000	研修・講習会参加費：1,245,000 共催金：200,000
	学術資料部事業	125,000	125,000	0	出版広告掲載費：125,000
教育局	卒前教育部事業	540,000	780,000	-240,000	臨床実習教育研修会参加費：240,000 協賛金：300,000
	卒後教育部事業	0	115,000	-115,000	
	研修管理部事業				
職能局	業務推進部事業				
	医療保険部事業	35,000	20,000	15,000	研修会参加費：20,000
	介護保険部事業				小研修会参加費：15,000
公益事業局	広報部事業	0	0	0	
	福祉事業部事業	220,000	200,000	20,000	リハビリテーション研修会事業参加費：200,000 小研修会事業参加費：20,000
	保健事業部事業	0	80,000	400,000	
特別事業	富山県理学療法学会大会	260,000	240,000	20,000	参加費：2,000×130名
事務局					北陸三県交流会：0 県士会交流会：290,000
	福利厚生部事業	535,000	790,000	-255,000	新人歓迎会：45,000 新年会費：200,000
	情報管理部事業	276,000	304,000	-28,000	士会ニュース広告料：276,000
助成金		200,000	200,000	0	協会委託費
雑収入	利息	1,000	500	500	
	その他	10,000	10,000	0	メディカルオンライン
当期収入合計（A）		7,629,000	7,954,500	-325,500	
前期繰越収支差額		2,000,000	1,900,000	100,000	
収入合計（B）		9,629,000	9,854,500	-225,500	

平成20年度一般会計収支予算(案)

平成20年4月 1 日から平成21年 3 月31日まで

支出の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
学術局事業費		2,376,500	2,499,500	-123,000	
	専門領域研究部	1,861,500	1,984,500	-123,000	部会会議費：46,000 研究会事業費：1,815,500
	学術資料部	515,000	515,000	0	印刷費：420,000 通信費：60,000 会議費：15,000 謝礼：20,000
教育局事業費		863,000	993,000	-130,000	
	卒前教育部	610,000	780,000	-170,000	臨床実習教育研修会：535,000 理学療法教育研修会：65,000 会議費：10,000
	卒後教育部	173,000	133,000	40,000	あすなろ研修：105,000 卒後教育研修会：60,000 会議費：8,000
	研修管理部	80,000	80,000	0	管理費：10,000 事業費：70,000
職能局事業費		249,000	228,000	21,000	
	業務推進部	66,000	98,000	-32,000	管理者会議費：66,000
	医療保険部	98,000	88,000	10,000	会議費：20,000 消耗品：3,000 研修会事業費：75,000
	介護保険部	85,000	42,000	43,000	情報発信費：25,000 会議費：20,000 小研修会：40,000
公益事業局事業費		827,000	898,000	-71,000	
	福祉事業部	210,000	217,000	-7,000	会議費：30,000 小研修会事業：20,000 ノーマライゼーション推進事業：20,000 リハビリテーション研修会事業：140,000
	保健事業部	140,000	204,000	-64,000	会議費：53,000 活動費：44,000 消耗品：25,000 通信費：8,000 印刷費：10,000
	広報部	408,000	408,000	0	理学療法週間事業費：165,000 会議費：50,000 健康と長寿の祭典事業費：23,000 広報誌：170,000
	調査部	69,000	69,000	0	会議費：9,000 通信費：40,000 定点調査費：20,000
特別事業費		490,000	520,000	-30,000	
	第14回富山県理学療法学会大会	470,000	470,000	0	講師謝金：50,000 会場費：100,000 準備運営費：80,000 印刷費：120,000 通信費：70,000 会議費：50,000
	第15回富山県理学療法学会大会準備委員会	20,000	50,000	-30,000	会議費：20,000(10名×4回×500)
事務局管理費		2,818,780	3,099,880	-281,100	
	事務部				会議費：100,000 通信費：300,000 Bネット契約：18,900
	財務部	996,900	1,185,000	-188,100	活動費振込料：8,000 役員活動費：250,000 印刷・消耗品費：300,000 公衆衛生学会協賛金：20,000
	情報管理部	1,072,680	928,180	144,500	印刷費：830,000 通信費：190,000 消耗品費：1,000 会議費：50,000 雑費：1,680
	組織部	10,000	12,500	-2,500	会議費：10,000
	福利厚生部	678,500	918,500	-240,000	新人歓迎会費：78,000 会議費：50,000 北陸三県交流会費：52,000 新年会費：222,000 県士会交流会費：276,500
	表彰審査委員会	5,700	5,700	0	通信費：1,200 会議費：4,500
	選挙管理委員会	5,000	0	5,000	会議費：5,000
	地区連絡会	50,000	50,000	0	会議費：50,000
繰入金支出	特別会計繰入金	800,000	600,000	200,000	学術大会繰入金：400,000 記念事業繰入金：400,000
予備費		1,204,720	1,016,120	188,600	
当期支出合計 (C)		9,629,000	9,854,500	-225,500	
当期収支差額 (A-C)		-2,000,000	-1,900,000	-100,000	
次期繰越収支差額 (B-C)		0	0	0	

平成20年度特別会計(1)収支予算(案)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		400,000	300,000	100,000	
	東海北陸理学療法学会大会	400,000	300,000	100,000	20年度分
事業収入		0	0	0	
	東海北陸理学療法学会大会	0	0	0	
雑収入	利息	100	5	95	
当期収入合計(A)		400,000	300,000	100,000	
前期繰越収支差額		900,005	600,000	300,005	
収入合計(B)		1,300,105	900,005	400,100	

平成20年度特別会計(2)収支予算(案)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		400,000	300,000	100,000	
	記念事業	400,000	300,000	100,000	平成20年度
事業費	35周年記念	210,000	—		参加費：3,000×70名
雑収入	利息	100	5	95	
当期収入合計(A)		610,100	300,005	0	
前期繰越収支差額		1,800,005	1,500,000	300,005	
収入合計(B)		2,410,105	1,800,005	610,100	

支出の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
事業費		1,000,000	—	-1,000,000	
	35周年記念	1,000,000	—	-1,000,000	式典：100,000 祝賀会：600,000 記念品：120,000 アトラクション：20,000 通信費：30,000 会議費：20,000 予備費：110,000
当期支出合計(C)		1,000,000	—	-1,000,000	
当期収支差額(A-C)		-389,900	—	389,900	
次期繰越収支差額(B-C)		1,410,105	—	-1,410,105	

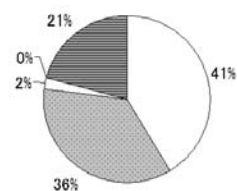
収入の部

会費収入	3,982,000
事業収入	3,436,000
助成金	200,000
雑収入	11,000
前期繰越収入	2,000,000
合計	9,629,000

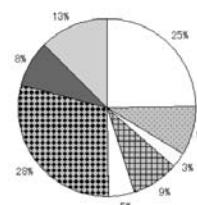
支出の部

学術局事業	2,376,500
教育局事業費	863,000
職能局事業費	249,000
公益事業局事業費	827,000
特別事業費	470,000
事務局管理費	2,818,780
繰入金支出	800,000
予備費	1,204,720
合計	9,609,000

収入の部



支出の部



士会員の独い言 『勉強会で学んだこと』

山田温泉病院 リハビリテーション科 中 島 知 子

理学療法士としてもうすぐ2年が経過しようとしています。まだまだ未熟者の私ですが、患者様やスタッフの皆さんから日々沢山のことを学ばせて頂いております。

さて、当科では週に2回程「勉強会」を実施しており、評価や治療のスキルアップを図るべくスタッフ同士切磋琢磨しています。この「勉強会」ではスタッフがセラピスト役・患者役となり評価や治療を行うのですが、健常者でも評価結果や治療に対する反応にかなりばらつきがあり、問題を的確に見つけ出し適切な治療を選択するということの大切さや難しさを感じています。経験の浅い私は、セラピスト役となってもなかなか上手くいかず悪戦苦闘してしまうのですが、患者役のときも同じくらい悪戦苦闘しています。というのも、他のスタッフが涼しい顔で片脚立ちしたりバランス練習をしているのに対し、私は顔も体もこわばらせ、かなり必死に同じ動作をしようとするのですが、どうしてもぎこちない動きになってしまいます。そして「バランス悪いなあ…」とため息混じりに言われるのがオチです。小さい頃からソフトボールをずーっと続けてきた私は、「運動には自信があるぜ！」などと勝手に自負していたのですが…勉強会の度に問題点を沢山指摘され、過剰な自信は見事に打ち砕かれてしまうのです。

「勉強会」は、理学療法士としての知識や技術を学ぶだけではなく、自分自身の身体能力までも知ることができ、様々な点で弱点克服に役立っていると感じています。今後も少しずつでもスキルアップできるよう、また「あんたの方がバランス悪いねか!!」などと患者様から指摘されないよう、日々身も心も磨いていきたいと思っています。

次回は、流杉病院 井上 貴文 先生です。



事務局 インフォメーション

職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

TEL (0765) 24-3999

FAX (0765) 24-3684

魚津市健康センター 森山まで

E-mail

akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

異動がある場合は異動届をお早めに提出願います

異動届、復会届、休会届等は異動する場合はお早めに事務局に提出してください。用紙は協会から送られる「総会並びに代議員会資料」、富山県士会ホームページにありますのでコピーして郵送してください。県外に転出される場合は、転出元の士会、転出先の士会両方に異動届を提出する必要があります。新人教育プログラム履修途中の場合には、士会事務局から履修状況確認表を転出先士会に送ります。提出の遅れは元の職場へ郵送物が届いたり、お手数をおかけすることになりますのでご配慮願います。

士会ニュース(会報)の名称募集について

情報管理部では、士会員の皆様への情報提供のあり方として、『士会ニュース』を士会活動等の記録を中心とした総合機関紙『会報』とすることになりました。新しく重要な情報提供は『ホームページ』に役割をバトンタッチし、その上もっと緊急性があり、かつ保険制度等の重要な情報提供は『FAX』等のメディアへシフトすることになりました。

そこで、次年度より新たに富山県理学療法士会機関紙『会報(新しい名称)』に生まれ変わります。

その新しい名称を募集します。皆さん！これはという名称をハガキまたはFAXで事務局へ応募お願いします(3月末日まで)。採用された方から抽選で1名に謝礼を差し上げます。

【送付先】 富山県理学療法士会事務局(情報管理部)

〒936-0023 滑川市柳原149-9

富山医療福祉専門学校 理学療法学科内

Tel/fax 076-476-1716

編

集

後

記

～編集長から～

- ・前回、士会ニュースに対するアンケートを、皆さんに送らせていただきました。その中で、PTとしての子育て支援情報やテーマを設定した意見交換のページ、書評や学術論文の読後感想等を今後掲載してほしいという意見がありました。今後情報管理部で検討し、対応させていただきたいと考えております。その他にも、士会ニュースに関する様々なご意見、ありがとうございました。今後ご協力の程、宜しく願いいたします。(中谷)

～編集部員から～

- ・最近、新聞やニュースなどをじっくり読み聞きできていない気がします。時代に取り残されないよう、日課にしていきたいと思います。(山森)
- ・今年度の士会ニュースは、比較的ページ数が多かったのでは？と思います。これからもボリューム満点の士会ニュースを期待します。(石吾)
- ・私の日課は毎朝新聞を読むこと。1月中旬頃の北日本新聞に掲載された『「夕陽を織る」の読者の声』で理学療法士の先生が「リハビリにも問題多く悩む」ということを投稿されていました。私も同感を抱きました。皆さんはどう思いましたか？(牧野)
- ・常に流動する世の中で、患者さんや利用者さんの心の支えとなり、役立つ理学療法士になるために、ものの本質を見失わない人で在りたいと思います。士会ニュース編集会議では多くのことを学ぶ場にもなっています。中谷部長さんありがとうございます。(城戸)
- ・KY式日本語に武士語。最近の若者の言葉には全くついていけません。日本語の乱れが指摘されていますが、私としては、遊び心や柔軟な発想という面では、少々羨ましくもあります。固定観念にとらわれず、いろんな事を吸収できる体制を整えておきたいものです。(菱田)
- ・今回の県士会ニュースに「私におすすめBOOK」の紹介があります。それに、ちなんだという訳では無いですが、…私の好きな漫画の「20世紀少年」が映画化される事になり、今からとても楽しみです。(福島)
- ・ウィンタースポーツを全くやらない私ですが、今年は幼少期以来の「そり」をしました。意外と面白かったけど、やっぱり寒かった。(荒木)
- ・医療・福祉関係に厳しい世の中になりました。歳をとること・怪我をすること・病気になることができない世の中になるのでしょうか？そうならないようにするためには、どう行動すればいいのでしょうか？そう考えてしまう毎日です。(長谷)
- ・春が訪れようとしているのに私たちを取り巻く社会保障制度は決していい方向に進んでいるとは思えない状況です。まさしく高齢者・患者さんに良いサービスができない。患者さん自身がサービスを控えざるを得ないといっても過言でない。以前、映画シッコを観ました。この国の医療は確実にアメリカよりの方向に急激にシフトしている現実を実感している。(田村)